

(中国乙12)
細菌性・アメーバ性赤痢
発生推移
= 2022年10月度 =

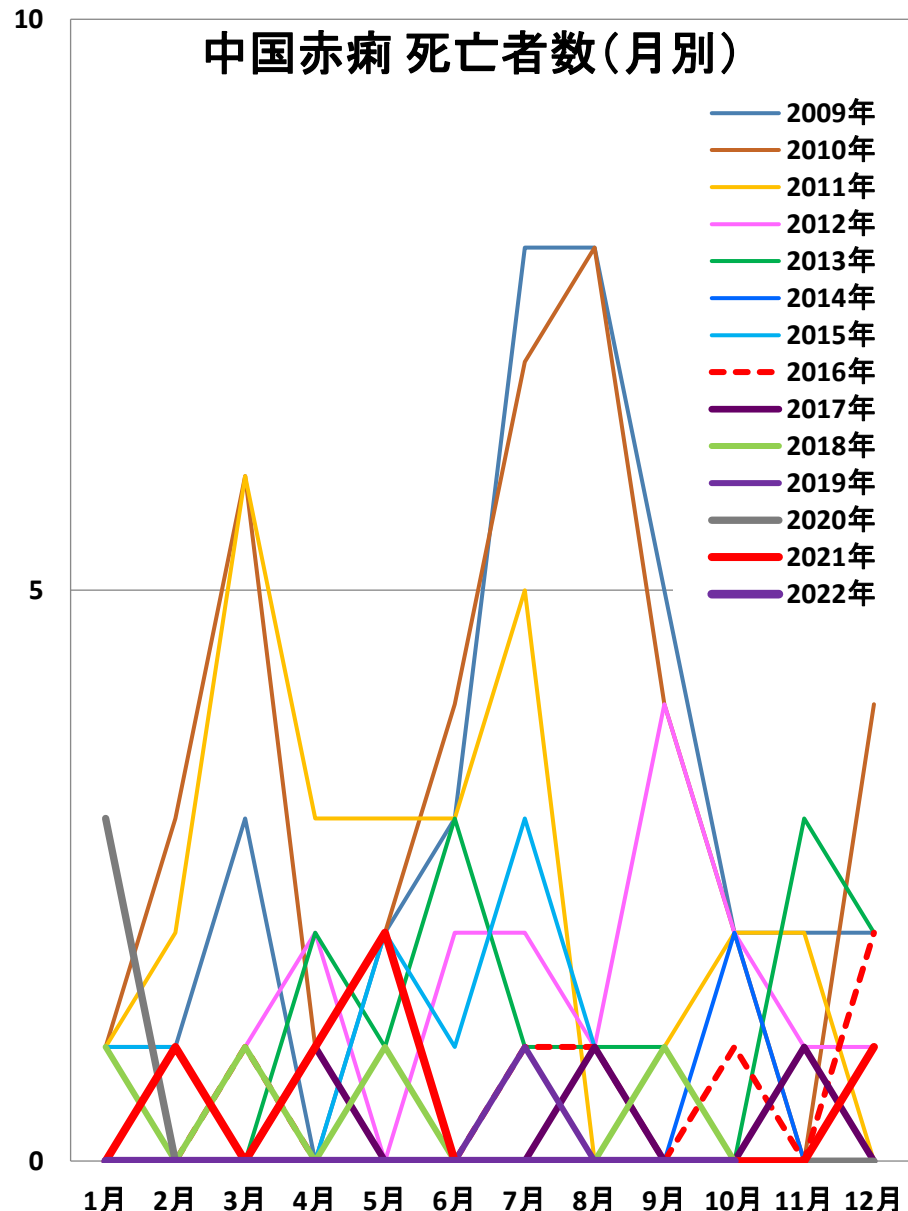
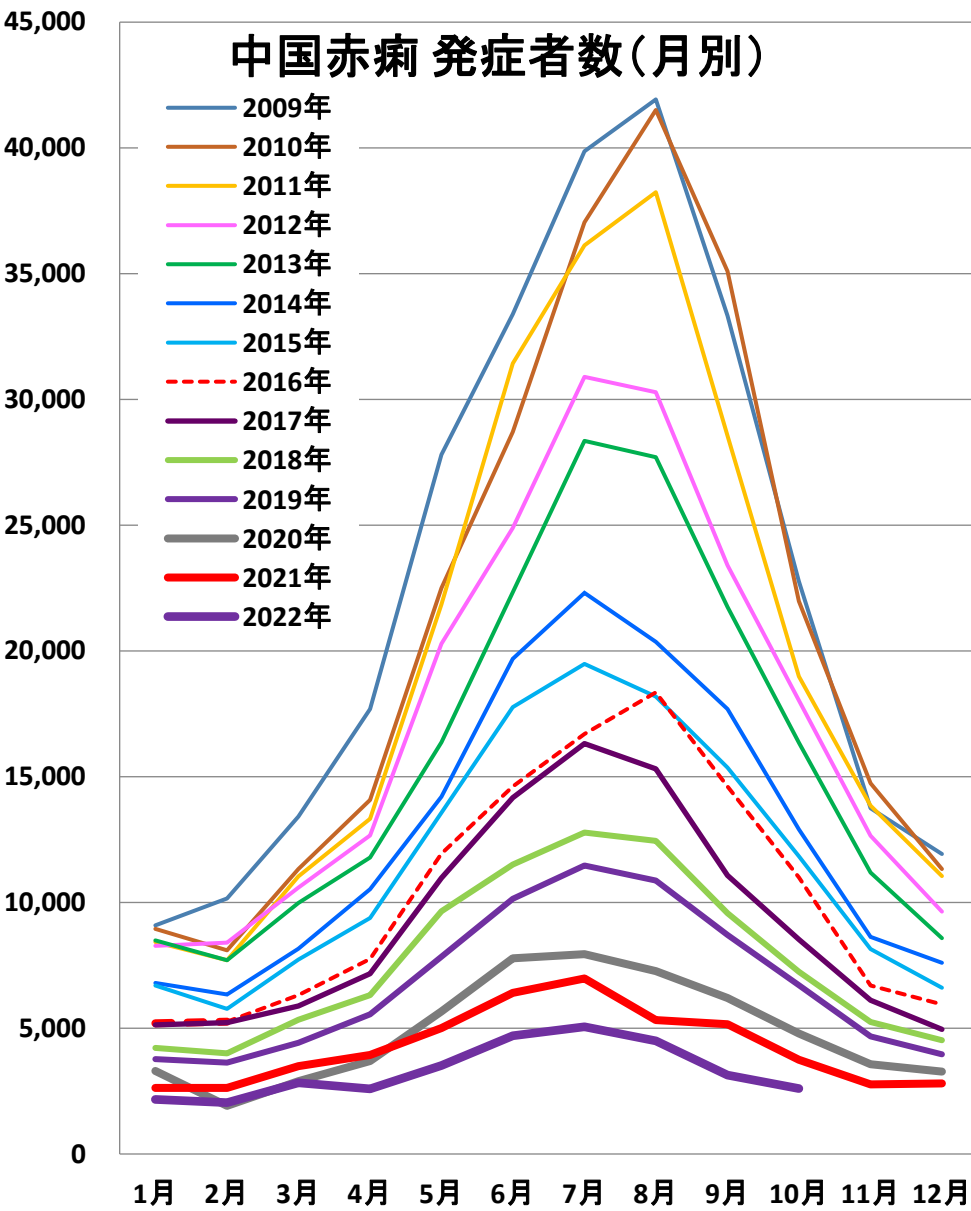
発表: 2022年12月01日天津CDC

作成: 2022年12月26日
日中医療衛生情報研究所

細菌性・アメーバ性赤痢

- 患者発生のピーク期は夏場の7～9月
- 年間患者発生数は、2008年から年々減少しており、
2016年9月から2021年1月まで53カ月連続で
月間発症者数の『過去最低記録』を更新した。
その後、2021年5月からまた過去最低記録を更新中
2015年は、138,917人、
2016年は、123,283人、
2017年は、109,368人、
2018年は、91,152人、
2019年は、81,075人、
2020年は、57,820人(**コロナの影響?**)
2021年は、50,403人だった。

乙12：細菌性・アメーバ性赤痢



乙12：細菌性・アメーバ性赤痢

